

第146回

2021. 8. 25

# 企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業 289社、回答企業 188社、回答率 65.1%
調査対象期間	2021年4～6月期の実績、7～9月期および10～12月期の予想
調査時点	2021年7月上旬～8月上旬

## 要約

### 2021年4～6月期の業況判断(季節調整済)はやや改善 先行き7～9月期は横ばい、10～12月期は悪化する見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断 BSI (季節調整済)について、2021年1～3月期と比べ2021年4～6月期(前期→当期： $\Delta 8 \rightarrow \Delta 4$  (+4ポイント))はやや改善した。なお、前回調査時の予想( $\Delta 10$ )と比べても改善している。業種別では、製造業(同： $\Delta 16 \rightarrow 0$ )が改善し、非製造業(同： $\Delta 6 \rightarrow \Delta 4$ )はやや改善した。4月から5月中旬にかけて県内で新型コロナウイルスの感染が拡大した影響が懸念されたものの、国内外の経済活動が徐々に上向していることなどにより、製造業を中心に持ち直しの動きがみられ、全体を押し上げた。

なお、売上げ BSI (同： $1 \rightarrow 4$ )はやや改善、収益 BSI (同： $\Delta 1 \rightarrow 4$ )は改善した。

先行きの業況判断 BSI は7～9月期予想は $\Delta 4$ と横ばいで、過去約15年(2006年7～9月期以降)の平均( $\Delta 16$ )と比べると改善している。続く10～12月期予想は $\Delta 15$ と悪化する見通しとなっている。

2021年4～6月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べ3.4ポイント上昇し、総投資額も同17.4%増の約292億円であった。業種別では、非製造業が減少した一方、大手の電気機械を中心に製造業は増加した。先行き7～9月期の計画は4～6月期の実績と同様に、実施企業の比率は前年同期より2.0ポイント上昇、総投資額は同102.8%増・約490億円の大増となる見込みである。続く10～12月期も、同133.6%増・約481億円と大増が続く見込み。

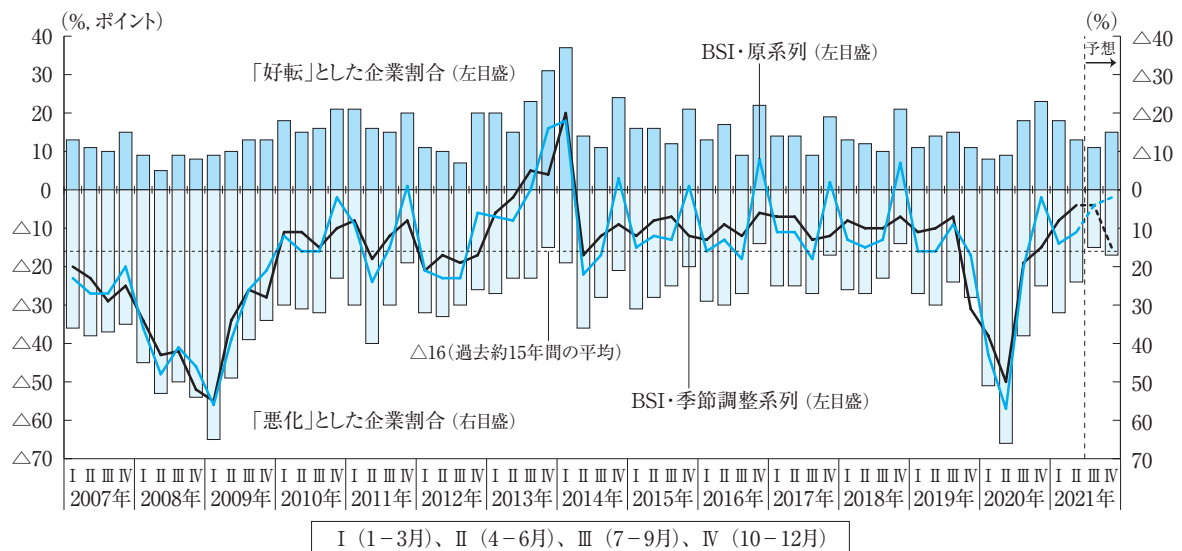
なお、今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業とも改善している。

1. 概況  
(全業種)

【2021年4～6月期の実績】 業況判断は前期からやや改善

県内企業の当期(2021年4～6月期、以下同じ)のBSI(業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値(季節調整済))をみると、前期と比べ、収益BSI(△1→4)は改善し、売上げBSI(1→4)、業況判断BSI(△8→△4)はともにやや改善した。新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念されたものの、国内外の経済活動が徐々に上向き、ワクチン接種も拡大する中、製造業を中心に持ち直しの動きがみられ、業況判断BSIは前回調査における予想(△10)と比べても改善した。

企業経営者による業況判断

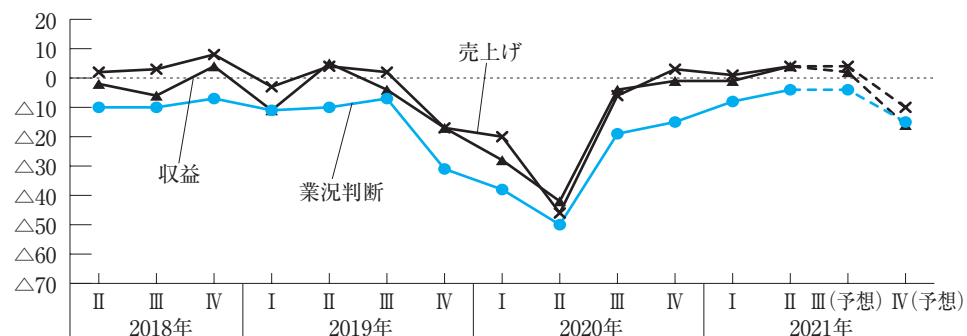


注：季節調整は、米国センサス局開発の X-12-ARIMA により実施

【7～9月期・10～12月期の予想】 業況判断は7～9月期は横ばい、10～12月期は悪化の見通し

2021年7～9月期の予想は、4～6月期に比べ収益BSI(4→2)はやや悪化、売上

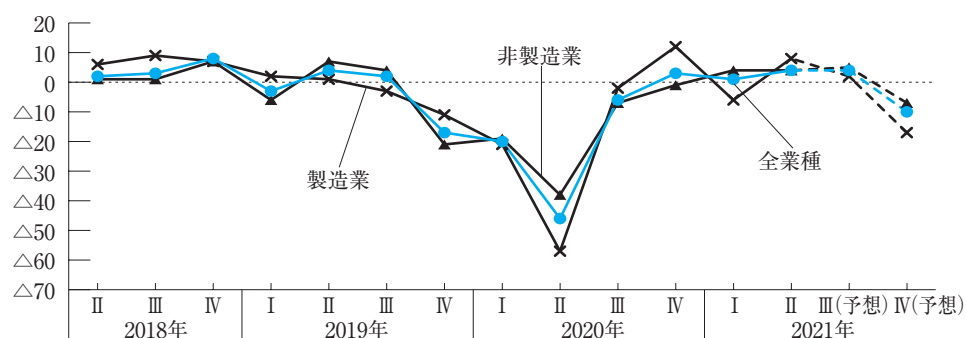
全業種BSI



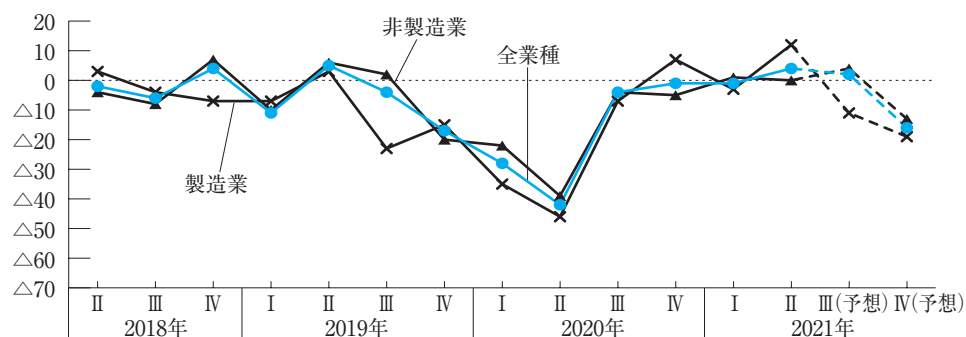
げBSI (4 → 4)、業況判断BSI (△4 → △4)は横ばいの見通しである。なお、この業況判断BSIは、過去約15年(2006年7～9月期以降)の平均(△16)と比べて改善している。続く10～12月期は、売上げBSI (4 → △10)、収益BSI (2 → △16)、業況判断BSI (△4 → △15)はともに悪化する見通しである。

7～9月は緩やかな持ち直しが当面は続くと考えているものの、10～12月は感染状況への不安感、国内外の景気動向や経済政策などに対する先行き不透明感が根強く、今後の景気の見通しに対し慎重な見方をする企業が業種問わず多いことが見受けられる。

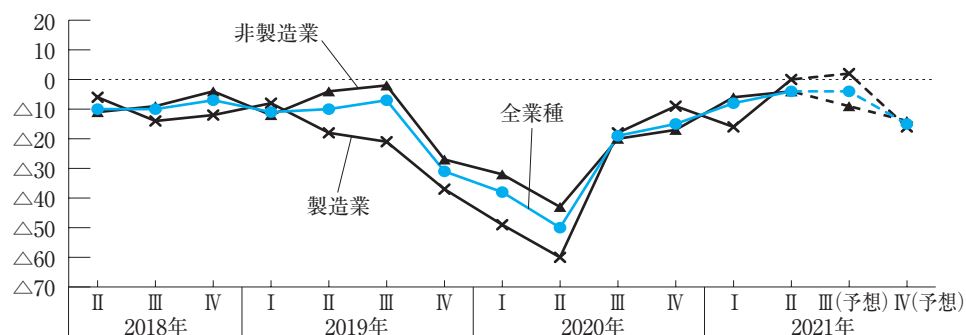
### (1) 売上げBSI



### (2) 収益BSI



### (3) 業況BSI



## 2. 製造業の動向

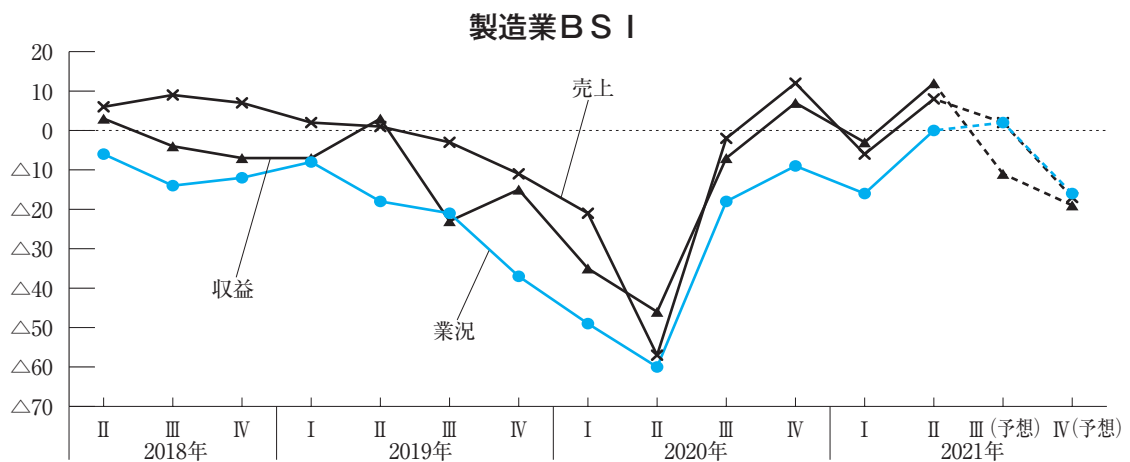
### 【製造業の現状】 売上げ、収益、業況判断 BSI とも改善

当期は、前期と比べ、売上げ BSI ( $\Delta 6 \rightarrow 8$ )、収益 BSI ( $\Delta 3 \rightarrow 12$ )、業況判断 BSI ( $\Delta 16 \rightarrow 0$ ) はともに改善した。業況判断 BSI については、業種別にみると、特に食料品や化学工業などで改善度合いが目立っている。国内外の経済活動の上向きを背景に持ち直しの動きがみられたことが改善に寄与したと考えられる。

### 【先 行 き】 業況判断 BSI は 7～9 月期はやや改善、10～12 月期は悪化の見通し

2021年7～9月期の予想をみると、当期に比べ、売上げ BSI ( $8 \rightarrow 2$ )、収益 BSI ( $12 \rightarrow \Delta 11$ ) は悪化した一方、業況判断 BSI ( $0 \rightarrow 2$ ) はやや改善となっている。続く10～12月期の予想は、7～9月期に比べ、売上げ BSI ( $2 \rightarrow \Delta 17$ )、収益 BSI ( $\Delta 11 \rightarrow \Delta 19$ )、業況判断 BSI ( $2 \rightarrow \Delta 16$ ) はともに再び悪化する見通し。

業況判断 BSI については、7～9月は原材料価格の上昇や半導体不足への懸念があるものの、引き続き持ち直しの動きを予想する企業は少なくない。一方、10～12月は先述の要因のほか、国内外の景気動向や経済政策の先行き不透明感が根強く、悪化を予想する企業が多い。



## 3. 非製造業の動向

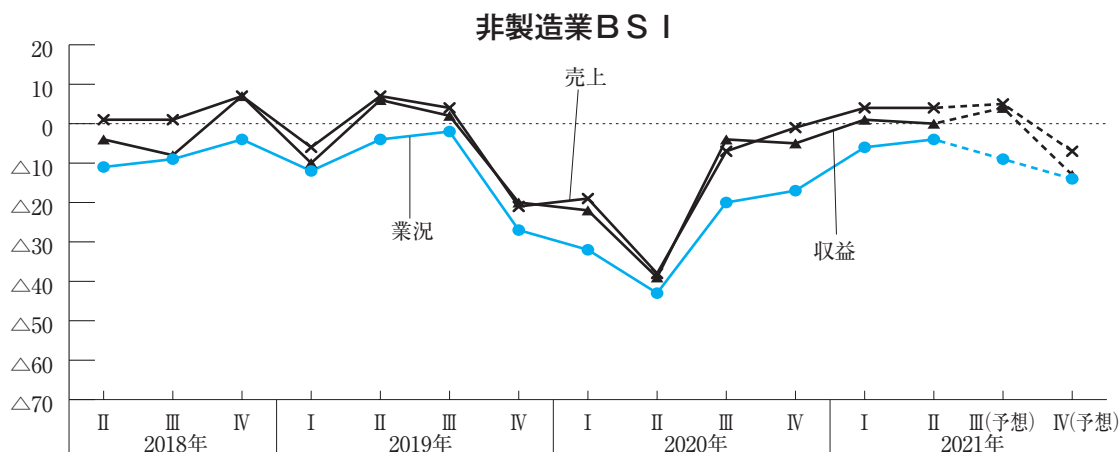
### 【非製造業の現状】 業況判断 BSI はやや改善

当期は、前期に比べ、売上げ BSI ( $4 \rightarrow 4$ ) は横ばい、収益 BSI ( $1 \rightarrow 0$ ) もほぼ横ばいだった一方、業況判断 BSI ( $\Delta 6 \rightarrow \Delta 4$ ) はやや改善した。業況判断 BSI については、4月から5月中旬にかけての新型コロナウイルス感染拡大への懸念のほか、一部で原材料価格の上昇の影響を不安視する動きもみられたが、総じてみれば景気が緩やかに持ち直す中、ワクチン接種の進行もあって、業況がやや改善したことにつながった。

### 【先 行 き】 業況判断 BSI は 7～9 月期、10～12 月期とも悪化の見通し

2021年7～9月期の予想をみると、当期に比べ、売上げ BSI (4 → 5) がほぼ横ばい、収益 BSI (0 → 4) は改善する一方、業況判断 BSI ( $\Delta 4 \rightarrow \Delta 9$ ) は悪化の見通しとなっている。また10～12月期の予想は、7～9月期予想に比べ、売上げ BSI (5 →  $\Delta 7$ )、収益 BSI (4 →  $\Delta 13$ )、業況判断 BSI ( $\Delta 9 \rightarrow \Delta 14$ ) はともに悪化する見通しである。

業況判断 BSI をみると、国内外での新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない中で、景気の先行きを不安視する企業が多いことが影響している。

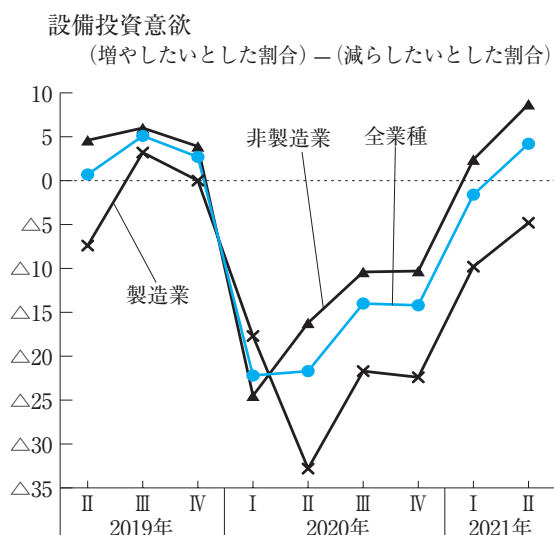


## 4. 設備投資の動向

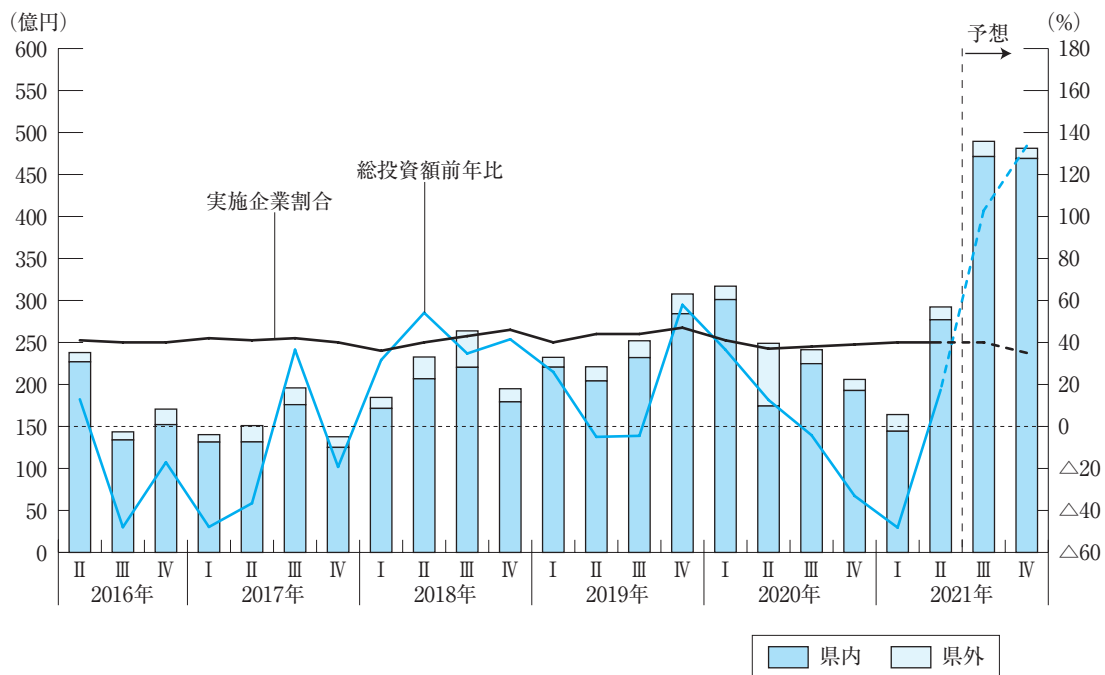
回答企業（全産業）のうち、2021年4～6月期において1百万円以上の設備投資（リース契約を含む）を実施した企業は全体の40.4%、総投資額は292億31百万円（県内投資額は277億4百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、非製造業が減少した一方、製造業は増加しており、全体で17.4%増となった(前期比78.0%増)。また、実施企業の割合は、3.4ポイント上昇となった。

先行きの計画をみると、7～9月期の実施企業割合は40.4%で前年同期より2.0ポイント上昇、総投資額は約490億円で前年同期比102.8%増と、大幅な増加となる見込み。続く10～12月期の総投資額も約481億円で同133.6%増の大幅増となる見込みである。

今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」が20.2%、「減らしたい」が16.0%、「ほぼ変わらない」が63.8%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率(4.2ポイント)は、前期( $\Delta 1.6$ ポイント)から上昇しており、2019年10～12月期以来6期ぶりに「増やしたい」企業割合が「減らしたい」企業割合を上回った。



## 設備投資額（支払ベース）



## 製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は48.4%で、前年同期より4.1ポイント上昇した。総投資額は、276億21百万円(前年同期226億42百万円)で、大手の電気機械、化学などで増加したことを主因に前年同期比22.0%増となった。うち、県内投資額は264億87百万円(同155億45百万円)となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「合理化・省力化」の比率が低下した一方、「増産・拡販のため」、「既存設備の補修更新」、「環境対策」は上昇した。

先行きの計画をみると、7～9月期の総投資額は約454億円で前年同期比109.7%増、続く10～12月期は約462億円で同143.3%増の見込みである。

今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」(19.4%)とする企業割合が「減らしたい」(24.2%)を4.8ポイント下回ったが、この差は前期(△9.8ポイント)と比べ改善した。

## 非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は36.5%で、前年同期より3.2ポイント上昇した。総投資額は、16億10百万円(前年同期22億58百万円)で、卸売業や海運業などで大型投資があった反動などにより前年同期比28.7%減となった。県内投資額は12億17百万円(同18億89百万円)となっている。

目的別にみると、前期と比べ、「合理化・省力化」の比率が低下した一方、「既存設備の補修更新」が引き続き約50%の比率を維持しているほか、「拡販のため」、「新規事業」が上昇した。

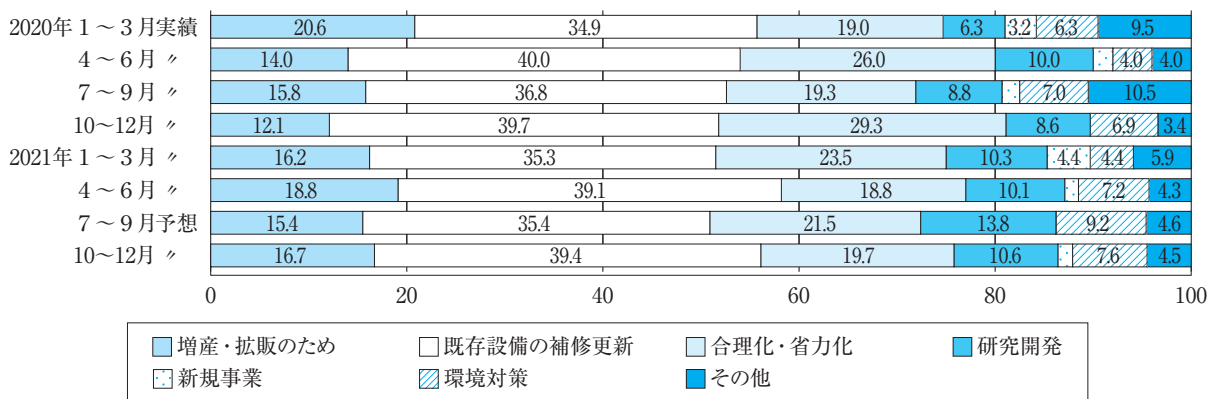
先行きの計画をみると、7～9月期の総投資額は約36億円で前年同期比4.1%減、続く10～12月期も約19億円で同4.3%減と減少が続く見込みである。

今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」(20.6%)とする企業割合が「減らしたい」(11.9%)を8.7ポイント上回り、前期(2.4ポイント)に続き「増やしたい」企業割合が「減らしたい」割合を上回った。

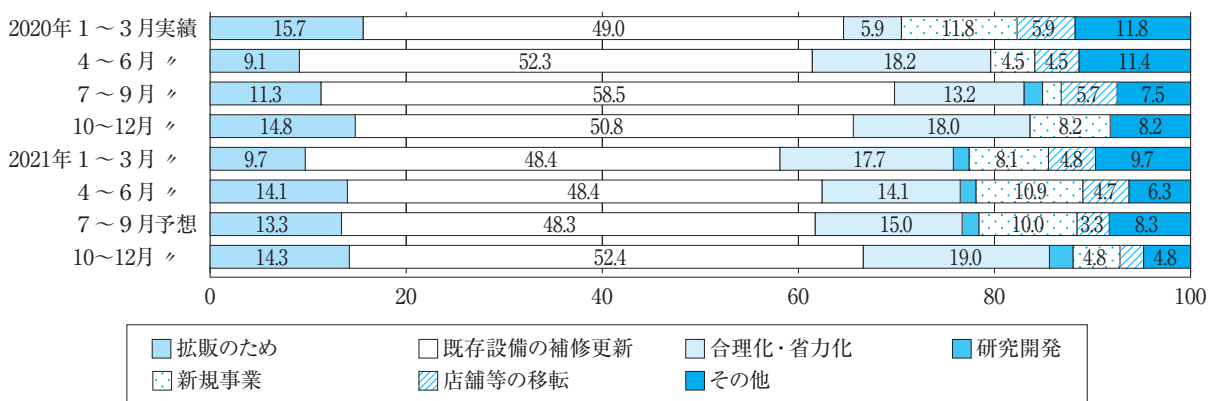


設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	0	0	0
	3～5百万円未満	2	0	2
	5～10百万円未満	3	1	2
	10～50百万円未満	109	32	77
	50～1億円未満	47	19	28
	1億円以上	27	10	17
計		188	62	126
従業員数	10人未満	20	3	17
	10～30人未満	36	12	24
	30～50人未満	34	12	22
	50～100人未満	38	7	31
	100～200人未満	27	9	18
	200～300人未満	15	8	7
	300～	18	11	7
計		188	62	126

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		11
	繊維製品		4
	木材・木製品		7
	パルプ・紙		3
	化学工業		9
	窯業・土石		3
	機械・金属		17
	その他		8
	計		
非製造業	建設業		17
	運送業		11
	卸売業		31
	小売業		26
	サービス業		40
	その他		1
計			126
総数			188

## 参考資料

## B S I

## (1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2019年10～12月実績	11	61	28	△17	△31	8	60	32	△24	△37	12	62	26	△14	△27
2020年1～3月々	8	41	51	△43	△38	5	35	60	△55	△49	10	44	46	△36	△32
4～6月々	9	25	66	△57	△50	8	22	70	△62	△60	9	28	63	△54	△43
7～9月々	18	44	38	△20	△19	20	37	43	△23	△18	18	46	36	△18	△20
10～12月々	23	52	25	△2	△15	26	52	22	4	△9	21	53	26	△5	△17
2021年1～3月々	18	50	32	△14	△8	16	46	38	△22	△16	19	52	29	△10	△6
4～6月々	<b>13</b>	<b>63</b>	<b>24</b>	<b>△11</b>	<b>△4</b>	<b>16</b>	<b>65</b>	<b>19</b>	<b>△3</b>	<b>0</b>	<b>12</b>	<b>61</b>	<b>27</b>	<b>△15</b>	<b>△4</b>
7～9月予想	11	74	15	△4	△4	11	76	13	△2	2	10	74	16	△6	△9
10～12月々	15	68	17	△2	△15	13	72	15	△2	△16	16	66	18	△2	△14

## (2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2019年10～12月実績	32	38	30	2	△17	36	40	24	12	△11	30	37	33	△3	△21
2020年1～3月々	17	32	51	△34	△20	13	26	61	△48	△21	20	34	46	△26	△19
4～6月々	15	20	65	△50	△46	18	15	67	△49	△57	13	23	64	△51	△38
7～9月々	32	30	38	△6	△6	35	23	42	△7	△2	32	32	36	△4	△7
10～12月々	45	32	23	22	3	57	22	21	36	12	40	36	24	16	△1
2021年1～3月々	27	32	41	△14	1	21	23	56	△35	△6	30	37	33	△3	4
4～6月々	<b>30</b>	<b>40</b>	<b>30</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>42</b>	<b>34</b>	<b>24</b>	<b>18</b>	<b>8</b>	<b>24</b>	<b>43</b>	<b>33</b>	<b>△9</b>	<b>4</b>
7～9月予想	22	60	18	4	4	18	61	21	△3	2	24	60	16	8	5
10～12月々	27	55	18	9	△10	26	56	18	8	△17	27	55	18	9	△7

## (3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2019年10～12月実績	28	44	28	0	△17	29	44	27	2	△15	27	44	29	△2	△20
2020年1～3月々	14	38	48	△34	△28	8	36	56	△48	△35	17	39	44	△27	△22
4～6月々	14	22	64	△50	△42	16	19	65	△49	△46	12	25	63	△51	△39
7～9月々	31	31	38	△7	△4	33	25	42	△9	△7	30	35	35	△5	△4
10～12月々	41	34	25	16	△1	50	24	26	24	7	37	38	25	12	△5
2021年1～3月々	28	37	35	△7	△1	28	28	44	△16	△3	28	41	31	△3	1
4～6月々	<b>26</b>	<b>43</b>	<b>31</b>	<b>△5</b>	<b>4</b>	<b>35</b>	<b>39</b>	<b>26</b>	<b>9</b>	<b>12</b>	<b>21</b>	<b>45</b>	<b>34</b>	<b>△13</b>	<b>0</b>
7～9月予想	18	63	19	△1	2	11	66	23	△12	△11	21	62	17	4	4
10～12月々	22	57	21	1	△16	18	63	19	△1	△19	25	54	21	4	△13

(注) B S I = (好転) - (悪化)